

課題番号：処-303

課題名	廃炉プロセス「処理・処分・環境回復（燃料に由来するα核種が含まれる廃棄物含む）」 検討対象「環境回復」 課題「敷地の除染、線量率低減」		時間軸情報	汚染水対策				
	使用済燃料プールからの燃料取り出し							
段階	Action		燃料デブリ取り出し					
ニーズ	望ましい状態とその理由		PCV/RPV/建屋の解体					
			輸送・保管・貯蔵					
1	除染、線量率低減を図りたい。	●敷地の汚染状況、線量率を正確かつ迅速に把握し、放射性物質の環境動態を踏まえ、より効率的・効果的・経済的な除染技術が開発されることが望まれる。 ●土壌の浄化・改良、アスファルト舗装面の洗浄等技術により敷地除染が進み、それに伴い敷地線量率が低減されることが望まれる。	処理・処分・環境回復 1	(参考) 関連する研究課題				
関連する課題	汚染水-102「地下水・建屋の現状把握」 汚染水-202「構造物健全性確保」		【実施されている研究課題】 H27年度英知「発電所隣接サイト外領域における放射性核種の環境動態特性に基づくサイト内放射性核種インベントリ評価に関する研究」					
			【検討されている研究課題】 課題リスト「重臨界Cs抽出（汚染土壌からのCs回収法の開発, 18-WT-TU-12）」 課題リスト「土壌からの放射性物質の除去」 課題リスト「セルロース分解性イオン液体を用いた汚染木材等の除染法の開発」 課題リスト「水熱分解法による汚染土壌・焼却灰処理技術」 課題リスト「フェリシアン系吸着剤によるCs回収技術開発」 課題リスト「プラズマを用いたヨウ素、セシウム捕集技術開発」					